

# 三川っ子だより

## No. 1

### 令和8年度学校教育目標 「『わたし』らしくあゆむ子」に向けて

令和8年度の学校生活が始まりました。今年度も学校教育目標である「『わたし』らしくあゆむ子」に向け、「粘り強くやり抜く、自分から挑戦する」などの「自立力」と、「協調・共感する、言葉で伝える」などの「社会力」を育み、「たくましく しなやかに」成長して欲しいと願っています。子供たちが自分の思いや願い、考えをもって、自分らしさを大切にしたい学校生活を送ることができるように、職員一同努力してまいります。保護者の皆様、御家族の皆様、地域の皆様と力を合わせ、三川地区の宝物である子供たちの成長を支えていきたいと思っております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

#### 入学おめでとうございます

4月7日には、24名の新1年生を迎え、入学式を行いました。新1年生は、名前を呼ばれたら大きな声で返事をしたり校長先生やお客様の話をしっかり聞いたりすることができ、とても立派な態度でした。

式の後には、担任から「たくさん友達をつくって、たくさん学んで、できることを増やしていきましょう。」と話があり、1年生は目を輝かせてうなずいていました。



#### お知らせ

##### 【日々の出来事をホームページで配信中】

学校ホームページで、日々の出来事を配信しています。大きな行事等があった際には、子供たちの様子をお知らせしていきます。ブックマークに登録するなどして、ぜひ御覧ください。また、遠方にお住まいの祖父母・親戚の方にも御登録いただくようお声掛けいただき、会話や交流のツールの一つとして御活用いただければ幸いです。



三川小学校 HP QRコード

##### 【小学校駐車場について】

5月1日（金）は、今年度最初の参観会・懇談会を行います。児童が一生懸命学ぶ姿を御覧いただければと思います。

このような行事等により自家用車で来校される際には、学校東側駐車場、三川コミセン駐車場を御利用ください。ただし、東側駐車場の幼稚園側（幼稚園裏門より南側）への駐車は、幼稚園の降園時間と重なる時間帯には、駐車しないようにお願いします。また、東側駐車場に駐車後は、北門から校内に進んでいただくようにし、三川幼稚園裏門（東側）を通行することはお控えください。

##### 【学校の電話番号について】

袋井市教育委員会が市内の各小中学校に学校用の携帯電話を設置しています。

番号は「070 - 8686 - 0361」です。（昨年度と同様の番号です。）学校から、この携帯電話を使って連絡をさせていただくこともありますので、御承知おきください。

なお、学校へ電話をかける際はこの携帯電話でなく、[0538-48-6197](tel:0538-48-6197)へお願いします。



## 令和8年度 1学期始業式 校長より

三川小学校の皆さん、進級おめでとうございます。今日は、令和8年度の始業式です。いよいよ新しい学年の1学期がスタートしました。昨日、24人の1年生が入学し、今年度は、1年生から6年生まで全部で136人です。先生たちは20人ですので、合わせて156人の学校です。

さて、2年生以上の皆さんは、3月の修了式の時、私が「竹」の話をしたことを覚えていますか。どんなお話をしたかおさらいをしますので、1年生も一緒に聞いてください。

竹は、成長がとても速く、1日に1m以上伸びることもあるそうです。竹は、なぜこんなに伸びるのかというと、その秘密は、「竹の節」にありましたね。竹には、いくつもの「節」があり、その一つ一つの節に竹を成長させる力があります。さらに、この竹の節のおかげで、強い風や雪にも折れず、柔らかく曲がって耐え、嵐が過ぎ去るとまたまっすぐに立ち上がって成長を続けます。竹にとって、節はとても大切な部分なのです。

修了式は、ちょうど1年が終わった大きな「節目のとき」でしたので、1年間の自分を振り返り、次に頑張ることやしたいことをしっかり考えると自分を成長させる「強い節」ができますよ、とお話しました。春休みの間に、新しい学年で頑張ることやしたいことをしっかり考えられましたか。

そして、今日は、もう少し付け加えてお話ししたいと思います。皆さんにとって「節目のとき」は、修了式のような大きな区切りのときだけでなく、もっともっと普段の生活の中にもあるということです。例えば、こんな場面はありませんか。

- 一輪車の練習を頑張り、昇段試験にチャレンジした。でも、うまくいなくて合格できなかった。
- 集団登校でリーダーになったけれど、しっかり並んでくれない人がいる。困ったな。
- 算数のテストで30点だった。勉強は難しいし、算数は嫌いだなあ。

実は、このようにつまずいて困っている時こそ「強い節」を作るチャンス、「竹の節チャンス!!」なのです。「伸びしろチャンス!」と言ってもよいかもしれません。なぜ失敗したのか、なぜうまくいかないのか、考え直してもう一度挑戦してみる。失敗しても諦めない心や勇気を出して一歩前へ進む心をもって、本気で何かに取り組んでみると、それが強い強い節になります。そして、強い節は、自分で自分を成長させてくれます。

- 一輪車名人の〇〇さんにコツを教えてもらおう。家でも練習してみようかな。→成長!!
- 通学班の先生に相談してみようかな。並び方を変えてみたらどうだろう。→成長!!
- もう一度九九を覚え直してみよう。ドリルパークで復習しようかな。→成長!!

失敗したっていいんです。うまくいかなかったっていいんです。失敗は、恥ずかしいことでも、駄目なことでもありません。「竹の節チャンス!! (伸びしろチャンス!!)」なのです。

去年、3年生がイチゴハウスの見学に行ったとき、イチゴ農家さんがおっしゃっていました。「今、こんなに甘くておいしいイチゴがたくさん作れるようになったのは、何度も何度も失敗をして、そのたびにどうしたらうまくいだろう、もっとおいしいイチゴを作りたいと一生懸命考えて挑戦し続けたからであり、失敗したときの方が、たくさんのことを学んだ。」と教えていただきました。

今年の三川小学校の目標は、「『わたし』らしくあゆむ子」です。去年と同じ目標ですが、今年は、「竹の節チャンス」のときにしっかり考え、自分の節を作りながら、イチゴ農家さんのように、竹のように、「たくましく しなやかに」成長し、「わたし」らしく歩める子になってほしいと願っています。強い節は、自分で自分を成長させてくれます。節目は、終わりではなく、次の成長への始まりです。

